

ひがしあわりの窓

平成22年8月発行 第4号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

看護のセンス



総看護師長
田中 恵子

幼少の頃からの夢、スケート、サッカー、ゴルフ、宇宙飛行士など、確実に実現させる人達がいる。夢を叶えるためには、人の見える範囲での努力だけではなく人並み以上の努力をしてこそ実現につながっている。私の夢も優しい看護師になること？と思ってきたが、格別の努力もしないまま今に至っている。

「理想の看護師像」を目指し日々看護実践をしている看護師も少なくない。看護は自分だけの考えでは実践できない、身体や精神を病んだ患者を中心に様々な職種が連携を取りながら、社会資源を最大限活用して、「その人をその人らしく」地域社会で生活できるように支援している。

社会のニーズも多様化してきている中、看護職に求められているものは、そのために必要な一般的知識・技術にプラスして専門的な知識・技術を習得し、責任を持って看護を実践する。そして、看護の質の向上のために絶えず努力（自己研鑽）を重ねることだと思う。医療技術は細分化され、専門的知識・技術を極めた専門看護師や認定看護師も多くなってきた。対象者の立場から考えると、専門看護師であろうが、認定看護師であろうが、看護師が行う看護を安全にきちんと必要

に応じて行われることを望んでいる。

看護は「ひとの誕生から終末（看とり）まで」を対象に、その対象は「ひと」であり幾通りものプロセスがある。看護は実践した結果だけを評価するのではなく、もっとも重要なことはプロセスに「看護のセンス」があることと思っている。この「センス」は看護の教本を見ても、マニュアルを見ても習得できるものではなく、看護者の持っている直勘、気づき、観察力、応用力、思いやり、優しさ等々、個々のDNAレベルに生活環境が影響しているように思う。東尾張病院に勤務する看護師には、精神科看護のスペシャリストも数多い。病棟を巡回すると、看護師が対象者と会話している場面や看護技術を提供している場面に出会う。看護実践の中に「看護のセンス」が輝いていると感じたときは「さすが精神科看護の経験者はすごい」と思い何とも嬉しい気持ちになる。逆に看護に幅がなく機械的な応対となり、看護者の品性までも疑うような場面を目にすると、対象者には心の中で謝りながら、「看護の原点は？」と考えさせられる。

病棟では年間を通して、大勢の看護学生が臨地実習を実施している。看護学生には精神科看護実習の目的が達成できる実習環境を提供すると同時に、「ひと」として成長発達段階にあるため「素敵な大人」になっていたいだくためにも、臨床場で多くの「ひと」や「看護」と出会い「看護のセンス」を磨いて欲しいと願っている。東尾張病院の看護はまだまだ未熟な点も多いが、院内だけでなく地域の状況を意識しながら、みなさまに認めていただける看護実践を目指していきたいと考えている。

第3病棟（医療観察法病棟）の紹介



平成17年に施行された医療観察法に基づく医療の提供をしている病棟です。心神喪失及び心神耗弱の状態により対象行為を行った患者さんが同様の行為を起さないために、疾患と対象行為の関連の理解、対象行為についての内省、治療コンプライアンスの向上、有効な対処方法の獲得を行ったうえで、社会復帰を目指していくことを目標としています。基本1年半という入院期間の中で患者さんを中心とした主に医師、心理療法士、看護師、作業療法士、精神保健福祉士で構成された多職種チームによる医療の展開をしています。

病棟は全室個室で中庭、体育館、作業療法棟など施設設備が充実しており、病棟内での運動やレクリエーション、作業療法などが行えるようになっています。入院中の治療プログラムとして、医療観察法についての理解、福祉サービスや制度についての情報提供、怒りのコントロール、社会生活技能訓練（SS

T）、生活技能講座など各職種から様々なプログラムが提供されています。

年間の行事も充実しており、夏祭りと題してスイカ割りを行ったり、採れたてのサツマイモに集めた落ち葉で焼き芋大会を行ったり、患者さんが歌やハンドベルを披露するクリスマスパーティーを行ったりと閉鎖された病棟の中でも季節感を持てるような工夫をしています。毎年、作業療法で作成した作品を体育館に展示し、他病棟の職員に見てもらうように作品展を行っています。そこで作品の評価を受けることは患者さんの意欲向上に繋がっています。

今年度からは新たな試みとして患者さんの御家族へ疾患についての説明や疑問に思われている点などの情報提供及び情報交換の場として家族会を開催しています。今後とも医療観察法の目的に基づき、患者さんにとって症状の改善、再発防止を図り、社会復帰できるよう患者さんと共に日々歩んでいきたいと考えています。



研究検査科の紹介

皆さんは、臨床検査技師の仕事をご存じでしょうか？



貴方や御家族の方が体の不調を訴え病院へ行かれた時、医師の診察を受け検査が行われます。この検査結果は、医師が解析して病名を決めるだけでなく、治療の進め方、病気の重症度、合併症の有無などの診断補助になります。

たとえば、薬の治療で症状を抑えることができるのか、細菌感染の時どのような薬の効果があるのか、緊急手術を必要とするのかの判断に役立てます。また、薬の副作用による白血球減少、肝機能障害のチェック、治療経過の観察、治療効果の評価、病気の早期発見、さらに症状からは見えないものも見つかることがあります。その検査を行うのが臨床検査技師です。

検査は、大きく「検体検査」と「生理検査」に分けられます。「検体検査」には、生化学検査、免疫血清検査、血液検査のように、採血した血液中の物質、成分がどれだけあるかを測定、又は陽性・陰性を判定します。血清1mlで数十種類の検査が行え、検査項目は1,000を超えてます。生化学検査は、糖、タンパク質、酵素、電解質等を測定し、肝臓、脾臓、腎臓、筋組織等の臓器に異常がないかを調べます。もし、異常があれば、この体内物質に変化が現れます。高脂血症、糖尿病、過度の飲酒などの生活習慣病の診療の指標にもなります。また、血液中の薬の濃度を測定することにより、服用している薬の効果、適正量も判断します。血液検査は、血液成分の赤血球、白血球、血小板等の数を調べ感染、炎症、貧血を見つけます。免疫血清検査は、ウイルス・細菌が侵入しているかどうか、炎症の強さ、甲状腺機能、アレルギー、腫瘍の状態を知ることもできます。

他の検体検査には、尿の成分から腎臓の異常、便からは消化管からの出血の有無を調べます。微生物検査は、食中毒などの病気を引き起こす細菌を培養して菌の種類を決定し、さらに、その細菌にどのような抗生物質の効果があるのかを検査します。

「生理検査」は、心電図のように心筋梗塞や心不全などの診断に、脳波検査は頭皮に電極を付けて患者さんからの電気的信号を記録します。

患者さんにとって、検査にともなう採血は痛く辛いですが、大切な検査の一つであること、また、何本も採血されることもありますが、より正確に結果を得るために御理解下さい。検査は、体の中のわずかな物質を測定しますが、同じものを何回測定しても同じ値になること、その測定結果が正しい値かどうかが求められます。このために精度管理を行いデータの信頼性を保っています。測定機器のメンテナンス、調整も欠かせません。

そして、御自身の検査結果だけを見た時に、基準範囲（正常範囲）にその結果がないことから、テレビなどで知った知識をもって不安になることもあると思いますが、食事、運動、年齢、性別等によっても検査値に変化があります。決して自己判断せずに必ず医師に相談され、医師が総合的に見た診断を受けることををお願いします。

臨床検査技師は、病院の医療チームの一員として、患者さんがより早く快方に向かわれるよう健康をサポートする役割を担うとともに、正確に、かつ、少しでも早く検査を行い患者さんの治療に役立てる、また、新しい知識・技術を身につける努力をしています。



作業棟紹介(その1)



当院の作業療法は、入院中や外来通院中の患者さんに対し、さまざまな作業活動を通じて心も体も前向きで生き生きとした生活を送っていただくための援助をしています。作業療法は幅広い分野で行われており、また、その対象となる方は

さまざま、当院のような精神障害のある方の他にも、脳卒中などで身体に障害のある方、認知症を患う高齢者や発達障害のある子ども、職場復帰を目指す方も対象になります。

ところで、作業療法という言葉で使われている‘作業’とはどのような作業を指すのでしょうか。あるAさんの一日は、朝起きて食事を摂り、身じたくを整え会社に出勤します。仕事を終えて帰宅し、夕食後はお風呂に入りテレビを見て寝るという一日でした。ここで、Aさんの一日を振り返ると、Aさんは朝起きるという作業、食事を摂るという作業、会社に出勤するという作業、…とたくさんの作業をしています。つまり、朝起きてから夜寝るまでにあった全てのできごとが‘作業’ということになります。

そのような生活の中で、Aさんは「最近やる気がなくて仕事に身が入らないなあ。休みの日もゴロゴロしてばかりいるので生活も不規則になりがちだし」と困っていました。Aさんは友人に相談したところ、「気分転換に好きなことを思いきりやってみるようにしたらどう?」とアドバイスを受けました。Aさんは通勤時間を利用して本屋やレンタルショップに通うようになり、休みの日には職場の同僚と趣味の野球観戦に行きました。すると、Aさんは生活にメリハリが生まれ、再び仕事に前向きに取り組めるようになりました。

Aさんのように、私たちは日々の生活の中で作業を行うことで元気になることができます。作業療法では、このような対象者のお困りごとや御希望に沿い、どうすればもっと良くなるかについて一緒に考えます。作業を楽しみながら、その人にとっての生活の質を高めていくこと、それが作業療法なのです。



病院バスの運行経路・時刻表の変更のお知らせ

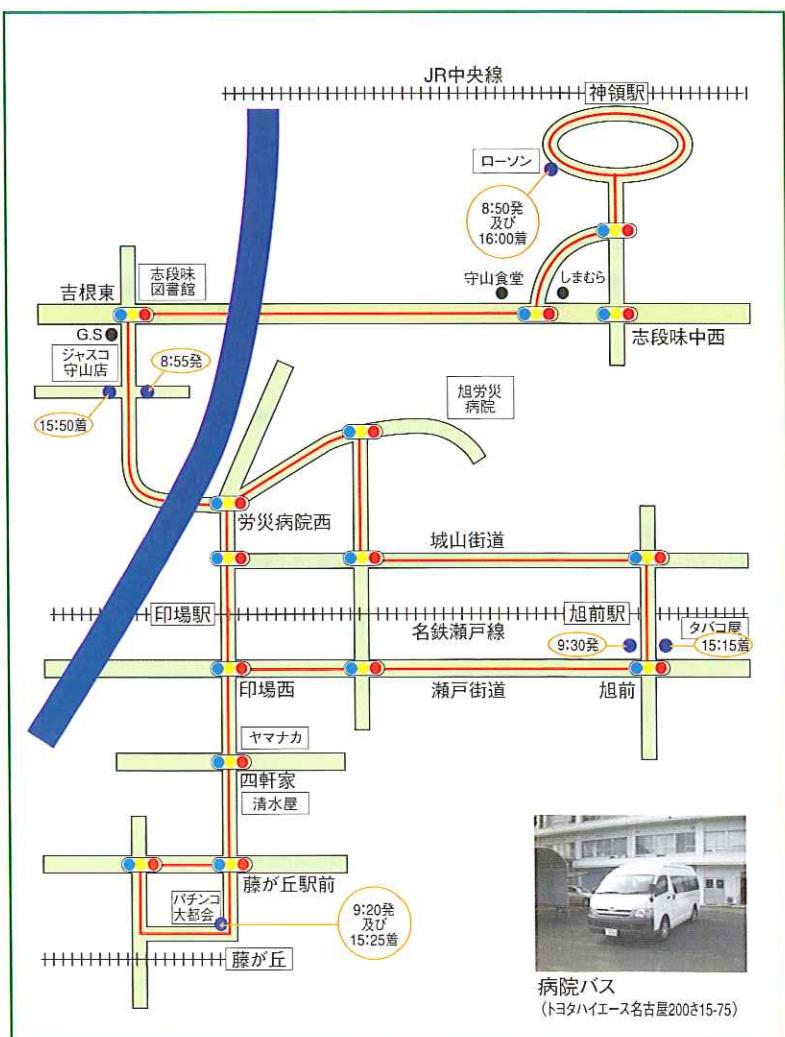
注:太字が変更部分です。

午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:10
神領駅 8:50	旭前駅 15:15
ジャスコ 8:55	藤が丘 15:25
病院着 9:00	病院着 15:40
病院発 9:05	病院発 15:45
藤が丘 9:20	ジャスコ 15:50
旭前駅 9:30	神領駅 15:55
病院着 9:35	病院着 16:10

※土曜、日曜、祝日は運休します。

■病院マイクロバス乗り場案内

病院……当院玄関東側の車庫前
旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅東側のタバコ屋前
藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角
神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前
ジャスコ……守山ジャスコ南東側の高架下



※交通事情により多少遅れることがありますので、御了承下さい。

	月	火	水	木	金
第1診察室	桑原	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	加藤 第1・3・5週	川崎	桑原／酒井	鳥居 第1・3・5週	野村
	青木(第2週) 木村(第4週)			菅原 第2・4週	
第3診察室	舟橋	青木	舟橋	加藤	川崎
第4診察室	八木	鳥居	青木	八木	木村
第5診察室	野村	菅原	加藤	吉岡	鳥居
第6診察室	川崎	(予診)	藤倉	野村	(予診)

(注1)受付時間は、8:30～11:30です。

(注2)家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせ下さい。

病院へのアクセス



名古屋方面から 電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統
東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
- J R中央線・地下鉄名城線大曽根駅下車
 - ゆとりーとライン志段味スポーツランド経由中志段味行き
乗車、東尾張病院下車
 - 名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後
タクシーで約8分

名古屋方面から 乗用車で

- 瀬戸街道(県道61号線)印場西交差点を北上、4つ目の信号
「労災病院西」を左折してすぐ左手

春日井方面から 乗用車で

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(ジャスコ)を南下し、
二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

